

三朝の未来を語る会

総括版

子

人口減少 少子高齢化①

現状と課題

現状(良い面)

- ・自然が美しく、水が綺麗
- ・温泉が有名
- ・空気が綺麗

課題

- ・少子高齢化と人口減少
- ・転出した人が戻ってこない
- ・未婚化が進んでいる



原因

- ・就職場所が少ない
- ・都会の方が便利だから
- ・大きなお店が少ない
- ・結婚のイメージがつかない
- ・snsを通じての結婚が最近多い
→離婚が多い



役場職員 山口課長

中学生 石阪梨理亞 清水莉奈

長安大地 米原陸斗

学習テーマ(目指す姿)

帰ってきてみたい・住み続けたいまちづくり

三朝の人口を増やすためには？



- ・アスレチック
→無料の遊び場
→都会の人方がお手頃だからとてくれるかも
- ・三朝のツアーを開く(若い人向け)登山、宿泊先は安い
→三朝の魅力を知つてもらって、移住者を少しでも増やす。
例。三徳山登山アピール(スリル満点の～)
- ・三朝の木を使って自然アート
- ・三朝町のSNSアカウントを開設
→またYouTubeアカウントも作る
→ラドンなどのマスコットと鳥取県出身の芸能人(有名)との交流をSNSなどに載せる
- ・三朝温泉の新たなサービス
→入ったら一回半額券・子供のためのお菓子
- ・地元に戻っても子育てできるような環境を作る(新婚に優しい価格のアパートなど)
- ・結婚をポジティブに考える



子

人口減少 少子高齢化②

現状と課題

現状

- ・取り組みをしているが魅力の発信がうまくできていない

課題

- ・空き家が増えている
- ・高校と大学がない
- ・若い人が出て帰ってこない
- ・核家族化の進行
- ・高齢化
- ・結婚しない人
- ・虫などの虫が減少している



原因

- ・利便性が悪い
- ・遊ぶ場所がない
- ・三朝町が認知されてない
- ・交通手段
- ・仕事場
- ・虫が生息しやすい環境が少しずつ減っている
- ・何もない
- ・生活環境の多様化



役場職員

竹本局長 松村参事

中学生

●磯尾信濃

○川原春人

澤成快斗

福安莉愛

学習テーマ(目指す姿)

多様な暮らし方への応援と移住促進

この町を日本1に!!

- ・SNSを活用
 - 三朝をたくさんの人々に知ってもらう
- ・イベント開催
 - 旅行者を増やす
- ・空き家のリフォーム
 - 移住者が移住しやすいようにする
- ・仕事場を増やす
 - 仕事場が少なく、移住したとしても働き場がない
- ・給食費タダ、大学まで医療費タダ
 - 子育てしやすい環境を作ることによって移住者を増やす
- ・おむつ支給
 - 子育て世代への支援
- ・インターネット環境の充実
 - どこでも仕事ができる



子

人口減少 少子高齢化③

現状と課題

- ・中学生にならないと国際交流の機会がない
- ・町内におられる外国人の方との交流機会がない
- ・地域学習は座学が多い
- ・小学校、中学校の交流機会が少ない
- ・検定取得の機会が英検しかない



原因

- ・小学校からの国際交流の学習する機会が少ない
- ・岡山大学の外国人さんを知らない
- ・地域学習が地域資源を体験するまで至っていない
- ・小中学校交流について先生同士で具体的な話が進んでない
- ・検定の受験者が少ない、先生の対応が大変

役場職員 角田課長 松原真里子さん

中学生

●司会者
横木もも香

○記録
横木もも香

岩本紗羅

知久馬大紀

中村好輝

船木蒼和

学習テーマ(目指す姿)

みささ教育の推進とみささ人の育成

MSJ(Misasa Super Junior) 育成計画

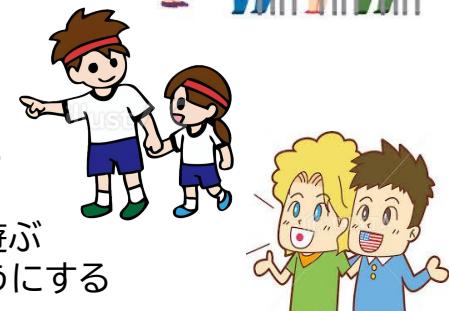
1.国際理解教育の推進

- ・小学校でも国際交流の機会を作る
- ・調理実習で外国の料理を作る
- ・外国人と一緒に給食を食べる



2.みささ教育の推進

- ・地域学習をフィールドワークにする
- ・小中合同で運動会、文化祭をする
- ・小中で縦割り班を作り、その班で遊ぶ
- ・漢検、数検を学校で受験できるようにする



交

世代間交流の 希薄化



役場職員

新課長 岩山課長

中学生

●長安育矢

○福本陽

北岡瑛人

福井晴生

現状と課題

- ・不健康で家から出る機会がない
- ・一人暮らしの人が多い
- ・違う世代と関わる機会が少ない
- ・関わる人が限定されている
- ・イベントの参加者が少ない
- ・直接話す機会がない



原因

- ・イベントに関心を示す人が少ない
- ・同じ地域に住む子供が少ない
- ・SNSの普及
- ・核家族の増加



学習テーマ(目指す姿)

つながりを大切にする地域づくり

解決策(未来に繋げる)

高齢者と若者がつながるまちづくり

- ・ボランティア活動に参加する
- ・他の地域との関わりを増やす。
→イベントなどでコラボする
→三朝をPRする
- ・地域を盛り上げる。
→地域のイベントに参加する
- ・自分たちができることは手伝う
→雪かき、災害時の手助け
- ・イベントを高齢者ではなく、若い人が進める。
→高齢者に楽しんで参加してもらう
- ・わいわいパレードで地域だけでグループを作らずに会社などで組む
→小さいグループから成長させ大きなグループにする
- ・踊りなどの伝統行事を引き継ぐ
→積極的にイベントに参加する。
- ・町の課題を他人事とせず自分の課題として考える



行

行動範囲の 広域化①

現状と課題

長所

- ・自然が多い
- ・空気綺麗・食べ物美味しい
- ・地域の人が親切で温かい
- ・観光地がまあまあ多い



短所

- ・楽しく遊べる場所がない
- ・近くに買い物をする場所が少ない(大きなお店がない)
- ・三朝町に訪れづらい

原因

- ・高速道路から遠い
- ・情報発信が少ない
- ・アパートが少ない
- ・やまの方にコンビニや飲食店が少ない
- ・大学がない



学習テーマ(目指す姿)

住みたいと思えるみささの魅力発信

(Come on 移住者！)

- ・ラジウムラドン温泉大学の建設
(大学生が住みやすくするために)
 - アパートの建設
 - 飲食店を増やす
 - ・情報発信を多くする
 - 有名なインフルエンサーを連れてくる
 - インスタを使った魅力発信
 - ティックトックでラドンを踊らせる
 - ・自然を生かした施設を増やす(アスレチック施設、スキー場、サイクリング施設など)
 - ・虫を駆除する
 - 何でも屋を作る



役場職員	山中課長	米田課長
中学生	●司会者	○記録
	岩也侑正	濱中克希
		福田直緒

行

行動範囲の 広域化②

現状と課題

- 三朝町の人口が年々、減少している
- 三朝町の世帯数が減ってきてしまっている
- 観光客入込客数をコロナ前と同じくらいに戻さないと行けない
- 来訪者の滞在日数やリピーターを増やす
-

原因

- ・都会に行く人が増えた
→若い人が減っていってしまう
- ・三朝町の景色が殺風景
→目に見えるものから明るくしていく(花、イルミネーションなど)
- ・若い人たちが楽しめるような場所や機会が少ない
- ・カフェや飲食店などが少ない
- ・温泉街じゃないところに観光スポットがない
- ・

役場職員 吉田課長 矢吹課長

中学生	●津村	○牧田	小浜
	松原こ	山本	

学習テーマ(目指す姿)

関係人口の増加と滞在スポット創出による交流推進

解決策【三朝をチャージ】

※中学生が決定し入力

- ・PR(す～は～温泉, 観光大使ココリコ遠藤さんと協力してCM)
- ・西小、東小、南小を使ってホテルや観光スポット(お化け屋敷)にする
- ・寺、三徳山、橋、役場ライトアップ&イルミネーション
- ・東小や南小のプールを釣り堀にする
- ・花をたくさん植える(けんこうむら、役場)
- ・ジビエ料理の店を出す
(メニュー例:鹿肉、猪肉、カレー、フルコース、ローストビーフ)
- ・ツリーハウス、グランピングなどの自然と触れ合うスポットをつくる
- ・三朝サイクリングロード(吉田奏太さん練習コース体験・聖地巡礼)
- ・動物が入れる温泉
- ・フランスと台湾の輸入店
- ・コンビニロード(ファミマ建設)

源

地域資源 の活用①



現状と課題

〈みささブランド〉

- ・興味のある人や知っている人には魅力的だが、一般の人に知られていない。
- ・品質は良いが、世間に広まっていない。
- ・地元の人ですら知らない三朝の特産品がある。

〈三朝町の魅力〉

- ・わざわざ鳥取に来ようと思う人が少ない。
- ・鳥取に来たとしても三朝に来ない。



原因

〈みささブランド〉

- ・神倉大豆は三朝町内の店や限られたスーパーでしか売っていない。
- ・インパクトがなく、世間にあまり知られていない。

〈三朝町の魅力〉

- ・「三朝町」が読みづらい。
- ・わざわざ三朝に来たいと思う人が少ない。
- ・立地が悪い。
- ・三朝から出て行ってしまい、UターンやIターンをする人が少ない。

役場職員

藤井建設水道課長

毛利三朝図書館長

中学生

●山口祐生

○北岡武朗

谷川太志朗

入江裕

学習テーマ(目指す姿)

「みささブランド」の確立とランドマークの建設

【神倉大豆の全国ブランド化】

〈みささブランド〉

- ・鳥取、倉吉、米子などの主要駅で神倉大豆の商品を販売してもらう。
- ・ふるさと納税の返礼品で、神倉大豆の商品のバリエーションを増やす。
→新商品開発の費用に使用する。
- ・神倉大豆(神のつぶ)にひきわり納豆を追加、神倉大豆を使った枝豆、醤油を開発する。



〈三朝町の魅力〉

- ・三朝温泉を活用した地熱発電所を作り、観光地にする。
- ・出て行った人に帰ってきてもらえるような魅力を作る。
(教育費無償化など)
- ・「三朝」を読めるように、「みささ町」にする。(さいたま市のように)

源

地域資源の活用②



現状と課題

- ・日本遺産の取り組みにより、観光について効果を上げようとしているが、その他の産業（農業や商工業）につなげることができるか？
- ・三朝町の日本遺産は三徳山と三朝温泉ではあるがあなたにとって身近なものか？
- ・三朝町全体（全員）で日本遺産を盛り上げていくにはどうするればよいだろうか？



原因

- ・三朝町民が気軽にに入る温泉施設がない
- ・知名度が低い
- ・SNSを活用しきれていない
- ・町民が他人事に思っている
- ・空港から遠い



学習テーマ（目指す姿）

日本遺産を活かした産業振興と地域活性化

解決策【 Please come to Misasa 】

- ・三徳レンジャーに三朝での活動を多くしてもらう
- ・シャトレーゼさんに三朝の大豆などを使ったスイーツを作ってもらい、売ってもらう。
- ・温泉をライトアップする
- ・町民割をし、三朝町民が温泉を利用してくれる機会を増やす
- ・三朝ミストを使ったことをSNSで宣伝してくれた人に温泉割引をする
- ・イモトさんや山本舞香さんなど鳥取出身の人に来てもらい、三朝温泉、三徳山を発信する
- ・大瀬や横手とかにある地域の温泉施設を増やす
- ・高校生から上の人が三朝の日（町長の誕生日や3月3日など）で三朝温泉や三徳山を紹介する投稿をSNSにあげる
- ・寺カフェりんつや三徳山の近くにあるカフェをもっと発信する
- ・三朝ミストをドラッグストアに置いてもらう
- ・美容家のインフルエンサーの人々に来てもらい、温泉を美容とし、信していく



地域資源 の活用③

現状と課題

- ・外国人旅行者の割合は約10%
- ・都市部から行きづらい。
- ・知名度が低い。
- ・東アジアの団体旅行者が多い。
- ・多言語を用意している

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	H26	H27	H28	H29	H30	R5	R2	R3	R4	R5
三郷温泉	入込客数(宿泊+日帰り)	366,506	386,331	365,776	356,591	346,536	347,330	246,244	198,977	244,534
	宿泊	332,154	351,113	331,705	323,687	314,132	313,878	227,998	188,702	232,308
	日帰り	34,352	35,218	34,071	32,904	32,404	33,452	18,246	10,275	12,226
考慮すべき事項		日本遺産認定	鳥取中部地震			コロナ感染症	コロナ感染症	コロナ感染症	コロナ感染症	
						7月豪雨災害				台風7号災害

原因

- ・交通の便が悪い。
- ・SNSの情報発信が少ない。
- ・キャッシュレス決済ができるところがある。
- 外国からの観光客が買い物をする時に支払いづらい。

役場職員 藤井課長

中学生	●川北煌晟	○別所優衣	阿部颯太
吉田煌基	メンバー3	メンバー4	

学習テーマ(目指す姿)

インバウンド需要の拡大と外国人にやさしい観光地づくり

解決策

M三朝のM魅力をM魅せたい

- インスタグラムなどSNSで三朝の観光案内や移住定住相談窓口についての情報を発信する。
- ・アクセスをよくする
- 空港などへの送迎バスを出す。
- ・キャッシュレス決済を普及させる。
- 買い物をする時に日本のお金に変えることは大変だと思うが、キャッシュレス決済であればお金を心配せずに買い物ができる。
- ・ポケットWi-Fiを貸し出しする。
- 観光案内所で無料で貸し出して、いつでもWi-Fi環境が使えるようにする。
- ・アナウンスを英語で放送する。
- 日本語で放送した後に、英語や中国語で同じことを放送して外国人からの観光客や三朝に住んでいる外国の人が三朝の地で安心して過ごしてもらいたいです。

源 地域資源 の活用④

現状と課題

- ・高齢者が気軽に運動できる施設がない
- ・若者(中高生)が利用しやすい施設
- ・カフェやレストランが少ない
- ・温泉に入る若者(中高生)が少ない

原因

- ・施設はあるが、町民にその情報が伝達できていない
- ・温泉に入ったらどのような効果があるか知らない
- ・気軽に入れる温泉施設がない、わからない

役場職員 青木課長

中学生 ●森田恭伍 ○米田玲愛

森隆輝 平尾康陽

学習テーマ(目指す姿)

**温泉を活かした健康づくりと若者が
利用しやすい環境づくり**

解決 策

Iターン対策

- ・町民は月に一回、特定の旅館の大浴場を無料にできる(各地域で交代して)
- ・商店街や店に見出しを大きく張ったり、看板を出したりして、そこがどういう場所なのかをわかりやすくする。(内装や特徴)
- ・温泉の効能を各旅館や温泉にわかりやすいように看板を立てる。
- ・新しくできた施設の情報をSNS等(TikTok)で発信する。